

【入カイメージ】 第2次あきる野市総合計画 令和4年度進捗管理シート(案)

第11回総合計画審議会
資料3-4

1 施策の成果目標

内容	実績値 (R2年度)	目標値 (R8年度)	実績値 (R4年度)	評価区分	令和4年度の実績における進捗状況 (現状、課題)	令和5年度の実績	総合計画審議会からの意見	担当課
第5章 教育・文化・スポーツ								
第1節 人権尊重教育の推進								
ワーク・ライフ・バランス推進事業所の認定数	4社	10社	4社	B	ワーク・ライフ・バランスを推進している企業を認定し、その取組を周知することで、市におけるワーク・ライフ・バランスを推進するため、認定した事業所を市広報紙、ホームページ等を通じて広く市民に周知した。また、ワーク・ライフ・バランスを推進している企業に対し、今年度は認定に至らなかった。	あきる野商工会と連携し、市広報紙やホームページ、ポスター等で事業の周知を行う。また、ワーク・ライフ・バランスを推進している事業所には、市の認定企業となるよう奨励をし、認定企業の増加を図る。	引き続き、ワーク・ライフ・バランスを推進している企業に対し、市の認定企業となるよう奨励を行う等、認定企業の増加を図る取組を推進されたい。	企画政策課

2 各施策の内容

内容	令和4年度の実績における進捗状況	令和4年度の実績における課題	令和5年度の実績	総合計画審議会からの意見	担当課	
第2章 産業振興分野						
第4節 消費者志向に合わせた都市型農業の推進						
1 多様な農業者の育成・確保	農業経営者の支援と確保・育成	新たに2人が農外から就農し、累計6人となり、直売所への出荷を中心として、学校給食などへも積極的に出荷を開始した。また、今後の就農を目指し、新たに2人の就農希望者が研修を開始した。	新たに担い手となった新規就農者は農外からの参入であるため、機械や設備を導入する資金がないなど、経営基盤が脆弱であり、作業効率と生産性の向上が課題である。	東京都及び(一社)東京都農業会議等と連携して、農外からの就農を希望する者を中心に、新たな受け入れの取組を継続して推進する。また、新規就農者定着支援施設整備事業補助金制度を活用し、新規就農者に対して、早期に安定した経営を開始できるよう、就農に必要な施設の整備費や機械設備の導入費を補助する。	新規就農者は農外からの参入であるため、機械や設備を導入する資金がないなど、経営基盤が脆弱であり、作業効率と生産性の向上が課題であるため、引き続き、新規就農者定着支援施設整備事業補助金制度を活用し、就農に必要な施設の整備費や機械設備の導入費の補助を行う等新規就農者の支援を推進されたい。	農林課